

うんコミュ だより



うんなん
コミュニティ
財団 UNNAN
COMMUNITY
FOUNDATION

平素から「うんなんコミュニティ財団」の活動に温かいご支援を賜りありがとうございます。

4月に「一般財団法人」として誕生した「うんなんコミュニティ財団」は、9月28日に、島根県からの通知により「公益財団法人」に認定されました。

11月には「東近江市・南砺市・雲南市」の3コミュニティ財団のコンソーシアム(連携)で申請していた休眠預金等活用法(※1)に基づく資金分配団体(※2)に採択され、12月21日から「実行団体」の公募を始めます。短い期間での公募、審査、採択となりますが出来得る限りの透明性を確保し説明責任を果たすよう最善を尽くす覚悟で臨みます。

コロナ禍の下、短期間でここまで「うんなんコミュニティ財団」が成長できたのは、紛れもなく「うんコミュ応援団」の皆様方の「熱き想い」に背中を押していただいた賜物と感謝しております。

弊財団の活動はフェイスブックやホームページで随時紹介していますので情報共有の意味からもご覧いただきますようお願いいたします。

「プラン共有発表会」「課題共有会議」「自然環境と資源循環座談会」「うんなんみらい調査」等から「小さな声をかたちに」するプロジェクトが次々と発表されています。来春実行に向けて寄付募集(みんなでカンパ)をスタートするプランも出て来ました。

(※1)休眠預金等活用法: 2018年1月1日に施行された法律で、目的は10年以上にわたって取引がない、いわば「眠っている預金」を、行政による対応が困難な社会的課題の解決に活用することです。(預金者の権利は引き続き保護されますのでご安心ください)

(※2)資金分配団体: 休眠預金等の活用対象となる事業領域において、社会の諸課題の効果的・効率的な解決に向けた事業を企画・設計し、民間公益活動を行う団体(実行団体)を公募により選定、助成等の資金的支援及び経営・人材支援等の非資金的支援を伴走型で提供します。

より多くの市民の皆様親しく認知していただき、小さな声に耳を傾ける「支え合い市民が作る市民のための財団」として未来に向かって共に歩み続ける「うんなんコミュニティ財団」をこれからも宜しく願っています。

代表理事 郷原 剛志



資源循環座談会の様子 12月は木次次乳業の佐藤貞之社長をゲストにお迎えし、木次乳業さんが大切にされていることを伺いました。このコロナ禍でより深刻になっている「心の健康」「心の環境」を良くしていくことについてもお話いただき、意見交換等行いました。

(※) オンラインと対面少人数制で開催しました



皆様の声 うんなんコミュニティ財団設立準備期間中から集めさせていただいている「こんな雲南にしたい」という声や「未来の雲南に残していきたいこと」など500以上ものお声と、市内既存アンケートの「こんなことに困っている」などを整理しています。今年度中に「行動指針」という形にまとめていきます。

プラン共有発表者さんご紹介

今までの発表会・勉強会を
動画でご覧いただけます！



偶数月7日に開催している市民のみなさんの「こんなことがしたい！」を
発表いただくプラン共有発表会。発表後には、参加者のみなさんと意見交
換の時間も設けています。10・12月も、新型コロナウイルス対策としてオン
ラインで開催いたしました！当日発表いただいた発表者さんと活動をご
紹介します。



【10月】シモクマ・ダニープロジェクト

キャラクターを活用して
地域を盛り上げていきたい！



■プランの経緯

これまで一年近く木次町下熊谷地区で地域活性化のお手
伝いを行ってきました。コロナ禍の夏にうちわを配布した
際、子どもたちをはじめ、多くの人が喜んで笑顔になっ
たり、キャラクターの力は大きいと思いました。

■今後について

地域の方々に元気を届けたいという思いから、着ぐるみ
作り「会いに行けるご当地キャラクター」として存在するこ
とでもっと下熊谷を元気にしていきたいです！

【12月】

五感で感じる雲南ツアー2021実行委員会
高校生に向けて雲南ツアーを開催したい！



■プランの経緯・実現したいこと

メンバー全員が、昨年の雲南ツアーの参加者です。生まれ
てからずっと暮らしていたのに気づくことのできなかつた地
元の魅力を、ツアーを通して認識することができました。
そして今、雲南市の魅力に気付かないまま市外に出てしま
う高校3年生もいるのではないのでしょうか。
私たちが雲南の魅力を体感し今の活動をしているように、
雲南が大好きになり、市外に出ても関わりを持ち続ける若
い人を増やしたいです！

＼ 昨年のツアーの様子 ＼



雲南ツアー実施に必要な資金を募っています

「五感で感じる雲南ツアー 2021実行委員会」のみなさんが、2021年3月に高校生を対象に
雲南ツアー開催を予定しており（※）、実施に必要な資金 11万5千円を、1月31日まで募っ
ています。

（代表 毛利優希さんよりメッセージ）

地元の魅力は誰かに教えられるものではなく、自分自身で気づくものであり、五感
を使って感じ取って欲しい。そんな思いを込めてこのツアーを計画しています。

高校生に雲南市の魅力に気づいてもらうことで、雲南市への愛着を持ってもらい、
高校を卒業して就職や進学をしても故郷のことを思い出し関わりを持ち続けてほし
い。そしていつか、魅力がたくさん雲南市に戻ってきてほしいなと思います。

地元出身の若い人たちが雲南に関わりを持ち続けるきっかけとなる「雲南ツアー」
に、ご寄付をどうぞよろしくお願いします。

プロジェクトの実現には、想いのある実行者さんと、実行するための資金の両方が必要
です。ぜひ「寄付」という方法でプロジェクトの実現に参加しませんか？
（お問い合わせ：うなんコミュニティ財団 / 電話 0854 - 47 - 7787）

ご寄付は
こちらから



資源の可視化、第一歩を踏み出しました！

9月に開催した1回目の地域課題共有会議で『社会資源(課題に取り組む人や組織など)が分からないので、まずその共有・可視化をしよう!』というご意見があり、11月7日に可視化をする会を開催しました。9月の共有会議で共有された『引きこもりの状態から回復に向かっている人の活躍の場所や居場所が少ない』という課題と併せて、既存のアンケート等から見えている市民の方々の困りごとを抽出し、「この困りごとは、こういう風に解決に向けて取り組めるのではないか?」などを考えアイデアを出し合いました。



この会を経て、雲南市内で10年以上活動をされている「おたがいさま雲南」と雲南市社会福祉協議会さんとの研修会が開催され、つながりのひとつの良い機会にもなりました。

うんなん課題共有会議を開催しました

第2回目は10月27日に「ごみを減らす・生み出さないためには?」をテーマに開催しました。雲南市内で取組をされている板倉千恵美さん、景山泰佑さん、神庭聖子さん(五十音順)に、個人やお仕事などで取り組まれている活動についてお話いただき、市内外 18名の方々と感想の共有や今後取り組んでいきたいことについて話しました。

◎個人でできること

- そもそも「ごみ」を出さない
 - ・ごみになるものを使わない・買わない・作らない
 - ・水筒や買い物かばんを持ち歩く・量り売りのお店を使う
- 繰り返し使う、みんなで使う
 - ・使わなくなったものを必要な人にまわす
- 出したごみを循環させる
 - ・生ごみを分解処理する(コンポスト)
 - ・資源ごみをリサイクルに回す(牛乳パック・プラスチック容器など)・分別する



オンライン開催の様子

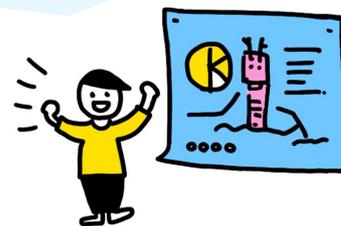
◎今後取り組んでいきたいアイデア

- ・「みんなのコンポスト」(畑などが無い人はコンポストでできた土の還し先が無いため)
- ・量り売りをしているお店や過剰包装をしないお店などの「エコショップマップ」をつくる(ごみを減らす取組をしているお店がどこにあるのかわからないため)
- ・木材が必要な人と、木材を処分できず困っている人のマッチングができればいい 等々

「もったいない」をなくしていくアイデア募集中!

12月までに4回開催した「資源循環座談会」や、「ごみを生み出さないためには?」など、ひと・もの・こと・お金・情報などの資源が地域のなかで巡ることについて、少しずつ話を伺ったり、意見交換やアイデアを出し合ったりしてきました。来年度、そんな「もったいない」「資源をむだにしない」ための様々なアイデアを形にしていきたいと考えています。「自分でやってみたい!」という方はもちろん、「アイデアだけでも出してみたい!」という方もOKです。詳しくは右QRコードまたは事務局(電話 0854 - 47 - 7787)まで!

【締切: 2021年1月13日(水)】



休眠預金の公募を開始しました

公益財団法人東近江三方よし基金、公益財団法人うなんコミュニティ財団、公益財団法人南砺幸せ未来基金が組織するコンソーシアムは、休眠預金を活用して一般財団法人日本民間公益活動連携機構(略称: JANPIA)が実施する、草の根活動支援事業の資金分配団体に選定されました。今回、**社会的孤立者やその家族を取り巻く社会課題の解決を図る**ため、**地域の様々な関係者が総働で暮らしと地域づくりの視点**から、行政制度の隙間を最小限にするために各市域で挑戦する実行団体を支援します。

雲南市内でも、このテーマに関して取組をされている方々がたくさんおられます。そのなかでも社会的孤立状態にある方がおられるということも事実としてあり、複数の団体や関係者など『オール雲南』で取り組まなければならないテーマです。説明会へのご参加、ご応募、よろしくお願いいたします。

(助成事業の概要)

対象地域: 滋賀県東近江市、島根県雲南市、富山県南砺市

採択予定実行団体数: 12団体程度

募集総額: 89,250千円

(公募要領)

弊財団ホームページからダウンロードすることができます。

(合同説明会および個別説明会の申し込みについて)

団体名、氏名、希望する説明会日時(オンラインの場合はその旨を明記)、電話番号を記載し、メール(info@unnan-cf.org)まで申し込みください。オンラインに申込みいただいた場合は、個別に当日の参加IDとパスワードをご連絡いたします。

【スケジュール予定】

公募開始 12月21日

合同説明会 12月24日 13:30~15:00

雲南説明会 12月26日 ①10:00-11:00 ②13:00-14:00 ③16:00-17:00
1月6日 ④16:00-17:00 ⑤19:00-20:00

公募締切 1月24日17:00

選考会 2月中旬

採択決定 2月下旬

【休眠預金制度の詳細】

一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)ホームページをご参照ください。

【問い合わせ先】 電話: 0854-47-7787 メール: info@unnan-cf.org(担当: 村上)

【テーマ】

ローカルな総働で
孤立した人と地域をつなぐ



ご支援いただきありがとうございます

基金へのご寄付

下中隆嗣さま 竹本浩さま スナックN & Nさま ローカルベンチャーラボ雲南・幸雲南塾にご参加の皆さま
匿名希望の皆さま 小俣健三郎(役員のため敬称略)



2020年12月21日発行
発行元: 公益財団法人うなんコミュニティ財団
島根県雲南市木次町木次36番地
電話: 0854-47-7787 メール: info@unnan-cf.org
ホームページ: <https://www.unnan-cf.org/>
(「うなんコミュニティ財団」で検索)

